

SDG s 環境班

佐々木亮輔、篠崎巧奨

目次

1. SDG s について
2. 企業訪問場所の紹介
3. 松山油脂について
4. 東産業について
5. 日本アクアバイオについて
6. まとめ

1. SDGs について

1-1. SDG s とは

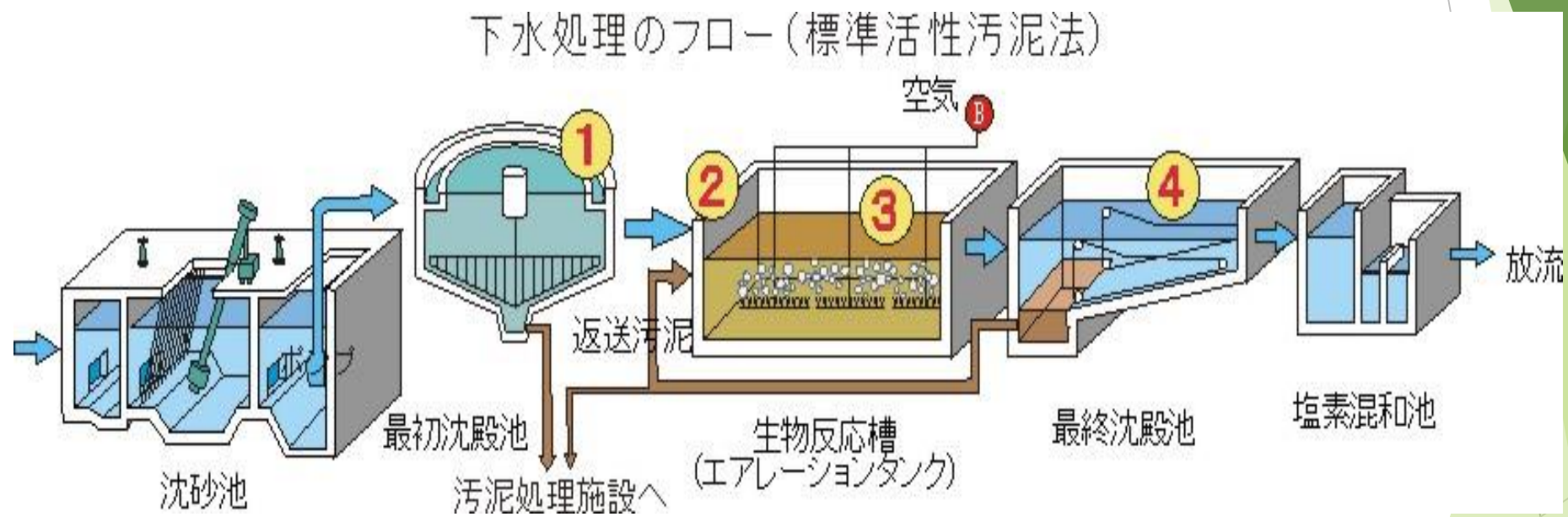
- ▶ SDG s は **Sustainable Development Goals** (**持続可能な開発目標**) の略で、2016年から2030年までの長期的指針を示した国際社会共通の目標のこと
- ▶ **17**の目標と**169**のターゲットから構成されており、地球上の「**誰一人として取り残さない**」ことを誓っている
- ▶ 日本のSDG s 達成度は162か国中**15位**となっている



1-2. SDGs 環境について

- ▶ 環境分野は大きく「気候変動への対応」、「循環型社会の形成」、「水資源の保全」、「化学物質の管理」、「生物多様性の保全」に分けられる
- ▶ 私たちの班はの中で「**水資源の保全**」に注目し、主に「**排水処理**」に取り組んでいる企業に的を絞って調べてみた

1-3. 排水処理の流れ



2. 企業訪問場所の紹介

3. 松山油脂(株) (2019年6月18日訪問)

本社 東京都墨田区東墨田

墨田工場 同上 他4か所に工場と研究所がある

4. (株)東産業 (2019年9月18日訪問)

本社 三重県四日市市野田

愛知県と三重県に他3か所営業所がある

5. 日本アクアバイオ(株) (2019年9月18日訪問)

本社 愛知県名古屋市名東区望が丘

静岡県に研究所がある

3. 松山油脂について

3 - 1 松山油脂(株)の概要

- ▶ 東京都墨田区にある石鹼やスキンケア商品を製造している会社
- ▶ 河口湖周辺にも工場を3カ所配置している
- ▶ 全国のイオンやナチュラルローソンなどで主に取り扱いしている



3 - 2 松山油脂(株)の取り組み



- 牛脂をはじめとして数種類の油脂を扱う
- 石鹼を作る製造釜(写真上)では**塩析**という石鹼成分と不純物を分ける工程がある。
※**塩析**...塩を投入することで石鹼成分と不純物を分ける工程のこと。
- 松山油脂はこの釜炊きを連続で行うことで洗浄回数を減らし、洗浄排水を少なくしている。
- この他にもスキンケア製造室(写真下)などの設備がある
- SDGsの取り組みとして**RSPO**の加盟が認められた。それにより森林保全や環境保全に貢献している。

RSPOとは

- ▶ Roundtable on Sustainable Palm Oil（持続可能なパーム油のための円卓会議）の略で、世界自然保護基金を含む関係団体を中心となって、2004年に設立された国際NPO団体のこと
- ▶ ステークホルダー（利害関係者）の参加を通じ、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としている

3 - 3 松山油脂(株)の今後の課題

- ▶ 今後排水をより減らすにはどうすればよいか

→釜の連続使用にも限度があり、一度に使う水の量を減らすか、水のある程度浄化し、循環的に使えるようにする。

- ▶ 環境に良く、有用性のある油のみを使用しているのだが製造コストが高くなる。

→製造過程に工夫を凝らす必要がある。

4. 東産業について

4-1 東産業の概要

- ▶ 水処理事業、不動産事業、エネルギー事業、介護事業など様々な事業を行っている。
- ▶ 今回は水処理事業についてCSV課の方にお話を伺った

4-2 東産業の取り組み

- ▶ 水処理事業の中では、排水処理施設の維持管理を行っている
- ▶ 施設内には、騒音や大気汚染の基準値が定められていて、基準値以内に抑えているので今のところ環境的な問題は発生していない
- ▶ 伊勢湾では、工場から出るごみで漁業に被害が出ている
→干潟を守るために、干潟周辺のごみ拾いを行うなどの工夫をしている

4-3 東産業の課題

- ・環境面では生活排水が深刻な問題
 - 古い施設を新しい施設に変える（浄化槽の取り換えなど）の工夫を行っている
- ・トラブルの原因としては、揚げ物を作った機械の洗浄後の排水にみられる。
- ・以前、愛知県の盛田株式会社では、酒類や醤油をそのまま排水として流していた。
 - 基準を厳しくしたり、環境MAPを作成することで自然との共生を図る工夫をしている

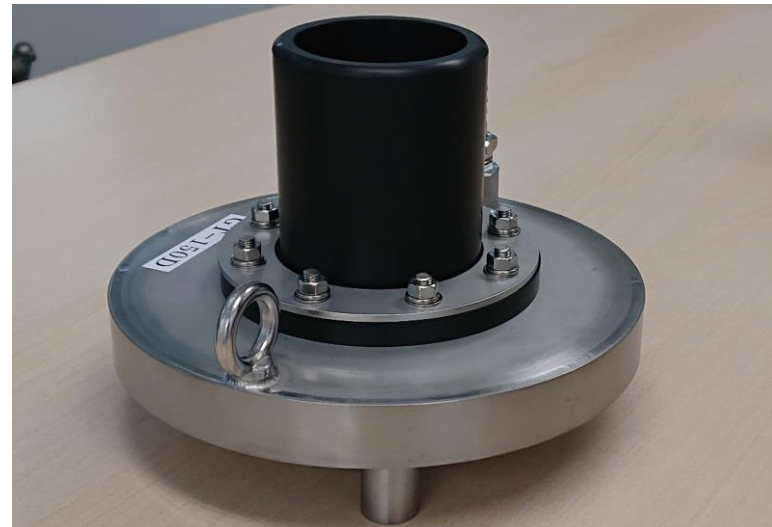
5. 日本アクアバイオについて

5 - 1 日本アクアバイオ(株)の 概要

- ▶ 本社が愛知県名古屋市にあり水の浄化の流れの一部を担当している
- ▶ どんな汚れた水も生きているとして水の「あるべき姿に戻す」手伝いをする会社。

5－2 日本アクアバイオ(株)の 取り組み

- ▶ NTアクアという「**空気の力**」で微生物を活性化させ水を浄化することのできる商品を取り扱っている
- ▶ この商品で池などの閉鎖水域の浄化を専門にしている。
- ▶ この商品は水の浄化だけでなく醤油の醸造にも応用されている。



5－3 アクアバイオの今後の課題

- ▶ 畜産排水は現状垂れ流し状態がほとんどで、土壌が汚染され、最終的に人間に害をもたらす可能性がある

→問題解決のためにNTアクアをどのように広め、どう活用していくか

- ▶ 地球温暖化をいかに食い止めるか

→省エネを含め更なる技術の進化が求められている

- ▶ 浄化したとしてもその水は飲めるようになるわけではない

→他の浄化している会社と協力して新興国などの飲料水の確保を行う

6.まとめ・見解

- ▶ 排水～浄化までの一連の流れの中でそれぞれ専門の企業があり、彼らは私たちの生活を根底で支えてくれている
- ▶ この水の浄化は日本だけでなく世界共通の課題であり、技術の交換伝播が・今後必要になる
- ▶ 浄化の各工程で各企業が努力しているが課題は消えず、水循環をより高度化しなければならない
- ▶ 今の子供の明るい未来のために企業は水を洗浄することに尽力している。その活動を少しでも多くの人に伝えるべきだと思う

ご清聴ありがとうございました！